

作成日：2026 年 9 月 10 日

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

早産児低身長症の成長ホルモン分泌に関する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2018 年 1 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日に昭和医科大学病院小児科で成長ホルモン分泌刺激試験を行った患者さん

2. 研究目的・方法

お子様の身長が伸びるためには、体の中で成長ホルモンの適切な分泌が必要ですが、低身長のお子様の中には、適切な量の成長ホルモンの分泌ができない方が存在します。そのため低身長の要因を調べるために、成長ホルモンが適切に分泌されているかを確認するため、成長ホルモンの分泌を促す薬剤を用いた血液検査を行うことがあります（成長ホルモン分泌刺激試験）。一方、早産で出生されたお子様は、出生予定日近くで出生されたお子様に比較して、乳児期以降に低身長となる傾向がありますが、その要因については明確にわかっていません。今回の研究の目的は、成長ホルモン分泌刺激試験を行ったお子様を対象に成長ホルモンが適切に分泌されているかどうかを調べ、早産の程度と成長ホルモン分泌量の関連について検討いたします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2031 年 12 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、生年月日、在胎週数、出生体重・身長・頭囲、成長ホルモン分泌刺激試験日、検査時年齢、検査時身長・体重、Tanner_stage（思春期の発達の進み具合を評価する指標）、成長ホルモン分泌刺激試験薬剤、成長ホルモン分泌刺激試験中の成長ホルモン値、IGF1、父・母身長、合併症の有無

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学医学部小児科学講座	氏家 岳斗
分担研究者	昭和医科大学医学部小児科学講座	中野 有也
	昭和医科大学医学部小児科学講座	永原 敬子
	昭和医科大学医学部小児科学講座	越智 彩子
	昭和医科大学医学部小児科学講座	東 みなみ
	昭和医科大学医学部小児科学講座	水野 克己

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学医学部小児科学講座 氏名：氏家 岳斗
 住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8564